

■特別会計決算 (前年度比較)

(単位:千円・%)

歳入	R2年度	R1年度	増減額	伸率
国民健康保険	10,735,046	11,342,077	△607,031	△5.4
後期高齢者医療	2,407,433	2,255,723	151,710	6.7
公共下水道事業	—	2,928,498	皆減	—
農業集落排水事業	—	975,770	皆減	—
八丁台土地区画整理事業	228,981	524,674	△295,693	△56.4
介護保険	8,813,835	8,874,841	△61,006	△0.7
介護サービス事業	8,383	3,315	5,068	152.9
病院事業債管理	894,378	480,525	413,853	86.1
計	23,088,056	27,385,423	△4,297,367	△15.7

歳出	R2年度	R1年度	増減額	伸率
国民健康保険	10,390,131	11,209,271	△819,140	△7.3
後期高齢者医療	2,379,629	2,213,186	166,443	7.5
公共下水道事業	—	2,090,947	皆減	—
農業集落排水事業	—	752,464	皆減	—
八丁台土地区画整理事業	70,685	369,353	△298,668	△80.9
介護保険	8,574,331	8,626,906	△52,575	△0.6
介護サービス事業	2,110	2,711	△601	△22.2
病院事業債管理	894,378	480,525	413,853	86.1
計	22,311,264	25,745,363	△3,434,099	△13.3

■企業会計決算 (前年度比較)

(単位:千円・%)

歳入	R2年度	R1年度	増減額	伸率
水道	3,230,448	3,126,614	103,834	3.3
うち収益	2,361,345	2,306,487	54,858	2.4
うち資本	869,103	820,127	48,976	6.0
下水道	2,599,127	—	皆増	—
うち収益	1,761,780	—	皆増	—
うち資本	837,347	—	皆増	—
農集排	1,094,317	—	皆増	—
うち収益	921,924	—	皆増	—
うち資本	172,393	—	皆増	—

歳出	R2年度	R1年度	増減額	伸率
水道	3,610,952	3,563,323	47,629	1.3
うち収益	2,040,392	2,025,988	14,404	0.7
うち資本	1,570,560	1,537,335	33,225	2.2
下水道	2,972,459	—	皆増	—
うち収益	1,674,303	—	皆増	—
うち資本	1,298,156	—	皆増	—
農集排	1,188,416	—	皆増	—
うち収益	895,967	—	皆増	—
うち資本	292,449	—	皆増	—

令和2年度決算に基づく財政健全化指標などの状況

実質赤字比率 …… 黒字決算のため該当なし

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率 …… 黒字決算のため該当なし

すべての会計の赤字や黒字を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率 …… 8.4%

市の借入金にかかる元金及び利息の支払いにかかる経費の合計額が標準財政規模^{*}に対してどのくらいの比率になっているかをみるもので、資金繰りの危険度を示すものです。

早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%

※標準財政規模とは…
通常収入されるであろう経常的な一般財源(税や交付金など)の規模です。本市の令和2年度標準財政規模は、255億8,387万円です。

将来負担比率 …… 64.5%

市の借入金や将来支払わなければならない負担金などの残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

早期健全化基準 350%

資金不足比率 …… 資金不足が生じないため該当なし

公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

経営健全化基準 20%

筑西家の家計簿

決算内容を一般家庭の家計簿に例えてわかりやすく説明するため、項目も簡単な言葉に置き換えてまとめてみました。

身近な言葉に置き換えるとわかりやすくなりますね。



収入(年額)	
給与(市税・地方交付税など)	280万円
親からの仕送り(国・県支出金など)	214万円
貯金取崩し(基金繰入金)	3万円
ローン借入れ(市債)	49万円
前年度繰越金(繰越金)	13万円
収入合計	559万円

※1万円=市決算の1億円
※収入・支出の差額は翌年度へ繰越

支出(年額)	
食費(人件費)	59万円
水道光熱費(物件費)	60万円
教育費・医療費(扶助費)	97万円
子どもへの仕送り、自治会費など(他会計繰越金、補助金など)	226万円
家や車の購入など(普通建設事業費など)	44万円
ローン返済(市債償還)	43万円
貯金積立て(基金積立て)	8万円
支出合計	537万円

決算の概要

令和2年度の一般会計の決算は、歳入総額が前年度比26.7%増の559億9,102万8千円、歳出総額が前年度比25.2%増の536億8,362万2千円であり、歳入歳出差引額は23億740万円6千円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、21億1,878万9千円の黒字となりました。

なお、財政状況については、財政健全化法に基づく早期健全化基準を下回っており、引き続き健全性を維持しています。

詳しくは、左ページ「財政健全化指標などの状況」をご覧ください。

決算報告

令和2年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されましたのでお知らせします。

【問】財政課(本庁4階) ☎24-2198

■一般会計決算()内は構成比

